

# T.G. Press

Tokyo Guarantee Press

巻頭

Special  
Feature

フードロスの削減へ  
持続可能なアプローチで

株式会社クラダシ「KURADASHI」



「AIくん、キミ、うちで何できる？」

仕事の生産性をぐんと高める！  
トップフォーマーの睡眠法

職場で食べたい  
おやつ & ごはん

アーリーステージの羅針盤  
株式会社Resilire

T.G.Info  
「TOKYO事業承継応援フェア」



ひたむきに正しいことを続ければ  
 いつか賛同者が増えていく



関藤 竜也  
 Tatsuya Sekito

1971年大阪生まれ。1995年に総合会社に入社、中国駐在を経験。その後コンサルティング会社を経て、フードロス問題の解決を目指すべく2014年に株式会社クラダシを設立。

Company Profile

株式会社クラダシ  
 創業：2014年  
 資本金：1,794万円  
 代表者名：関藤竜也  
 事業内容：社会貢献型ショッピングサイト「KURADASHI」の企画・制作・運営  
 所在地：東京都品川区上大崎3-2-1目黒センタービル5階  
 URL：https://corp.kuradashi.jp/

ヒットの最大の障壁は？

「安売りよりは廃棄」という染みついた商慣習

世界が抱える課題  
 フードロス削減

コロナ禍の影響で、世界の飢餓状況は今、劇的に悪化している。2021年に発表された、国連の合同報告書「世界の食料安全保障と栄養の現状」によれば、2020年には世界の10人に1人が栄養不良と推定されたという。その一方で、先進国を中心に、食べ物も余り、捨てられ続けている。なかでも日本は有数のフードロス大国であり、年間約570万トン（※）もの食品を廃棄している。これは世界で飢餓を減らすべく支援している食料量を優に超え、一般廃棄物処理費用は年間2兆円にものぼる。「明らかに異常な状態なのに、それを放っておいていいはずがない」そんな正義感が、すべての始まりだった。フードロス解消を目指し、関藤さんが立ち上げたのが「KURADASHI」だ。「賞味期限の切迫、パッケージの汚れや傷、自然災害による被害といっ

世界有数の「フードロス大国」である日本。大量の食料が廃棄される日常に疑問を抱き、その解消を目指す一人の経営者がいる。品質に問題がなくとも諸事情で廃棄される商品をお得に販売する人気の社会貢献型ショッピングサイト「KURADASHI」。その舞台裏に迫った。

取材：文／國天俊治 写真／西山雅彦

た要因で、問題なく食べられるにもかかわらず、通常の流通ルートでは販売できなくなった商品が大量に廃棄されています。それを買取り、お得に販売した売上の一部を社会貢献活動団体に寄付するショッピングサイトが、KURADASHIです。現在その会員数は32万人を突破し、累計で2万1641トンものフードロスを削減してきた。

震災での経験から  
 個人の力の限界を知った

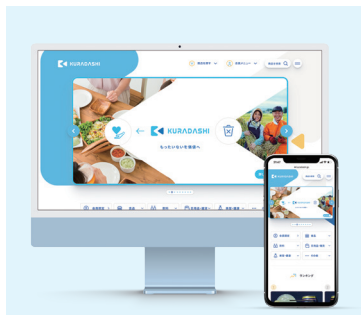
社会課題を、ビジネスで解決してみせる——。関藤さんが抱く情熱の原風景は、幼少時代にあるようだ。「父からは、命とは社会に貢献するために授かったものだ、と言われ、母からは慈愛の大切さを説かれてきました。そんな幼少期を過ごしたため、子どものころから、困っている人を助けることに喜びを感じ、正義感も強かったように思います」1995年に起きた阪神・淡路大震災では、自らも被災したにもかかわらず、壊滅的な被害の出た神戸市

へと飛んでいき、救援活動を行った。「方々で火の手が上がリ、血を流す人々がひっきりなしに現れる壮絶な状況でした。そこで自分ひとりの力ではあまりに小さく、ほとんど何もできない無力さに、ほぞをかみました」苦しむ人や困っている人を多く救うには、個人の力では限界がある。組織や仕組みが必要だ……。起業の種が、心に植えられた体験だった。そしてその種が芽吹きつつあった。なったのは、2001年、商社マンとして中国に赴任していた際に目にした一つの光景だった。「規格の重さと10グラム違う、形が少し悪い、というような理由だけで、コンテナ一杯もの鶏肉が廃棄されていました。これが正しいことには思えない。そう思っ、フードロスに

ついて調べ出しました」深く知るほど、納得できなくなりました。飢餓で苦しむ人がいる一方で、大量の食料が無駄に廃棄される。その矛盾を放ってはおけなかった。「フードロスという大きな課題を解決するのは、一朝一夕にはできません。持続的にアプローチしていくためには、ボランティアではなく事業として成立させる必要があると考え、その方法を模索する日々でした」ソーシャルビジネスという言葉すら存在しない時代、関藤さんの頭には、すでにアイデアが芽吹いていた。事業化に向けて本格的に動き出したのは、2014年7月。会社を設立し、満を持して新たなプラットフォームの開発に乗り出した。「当時、CSR（企業の社会的責任）

社会貢献型ショッピングサイト  
 「KURADASHI」とは

賞味期限の切迫した商品や季節商品など、販売の機会が失われつつある商品を買取り、消費者とマッチングすることでフードロスを削減する社会貢献型ショッピングサイト。売上の一部を環境保護、災害支援、動物愛護、医療支援など14の団体へ寄付し、支援総額は7,492万円（2022年1月末）に到達している。



※農林水産省及び環境省「令和元年度推計」



# AI導入で、我が社も「多国籍企業」に!?

AI導入を成功させるために、心得ておくべきことを紹介します。

AI総合研究所 NABLAS株式会社  
代表取締役 所長  
中山 浩太郎



少子高齢化による国内市場の縮小や人材不足などから、海外進出を検討する中小企業は今後増加すると予想されます。その際ネックになるのが「言葉の壁」ですが、AI技術の飛躍的な進歩により、その壁はすべとりに払われつつあります。

日々発展するAI技術により、自動翻訳技術の性能はここ5年で飛躍的に上昇しました。例えば、Google社の提供するGmailには、届いたメッセージを翻訳する機能が付きませんが、この翻訳の精度は高く、多くの仕事で十分使えるほどです。こうした高次の翻訳機能を支えているのが、最新のAI技術「ディープラーニング」を活用した高度な言語処理AIです。

最新の言語処理AIのすごいところは、性能だけではなくありません。対応言語の多さも大きな特徴です。従来の翻訳システムの多くは、英語と対象言語の間で翻訳するものでした。つまり相手が英語圏でないなら、日本語を一度英語に翻訳し、それを相手国の言語に翻訳するという2ステップを要しました。結果として誤訳が多く、スムーズなコミュニケーションは難しいものでした。しかし最先端の言語処理AIでは、同じシステム内で「日本語からフランス語」「中国語からドイツ語」といった翻訳を直接行えるようになったのです。さらに翻訳だけでなく、ここ数年で、AIの言語処理能力が飛躍的に向上していますが、なかでも「GPT-3」という技術は、人間と同等レベルの自然な文章の生成が可能です。

## 最新のAI技術で翻訳精度が飛躍的に上昇

また、テキストに加え、音声でも翻訳機能が見えるようになりました。日本語で撮った動画に外国語の字幕を入れたり、音声を変えたり、自動でできるようになってきています。動画の翻訳は、まずシステムが音声の内容を正確に聞き取り、それを別の言語に直すという2つの処理が必要になります。そのいずれにも最先端のAI技術が用いられ、その性能は飛躍的に向上しています。

Profile: なかやま・こうたろう  
AI総合研究所 NABLAS株式会社代表。AIやディープラーニングについて、東京大学などで最先端の研究を行うとともに、企業のAI導入推進や、人材の育成にも力を入れている。

- Point!**
- 高度な言語処理AIがコミュニケーションをより自然に
- 低コストで利用できるAI活用のサービスが続々登場

# 信念と覚悟を持ち、思いを伝え続けた

という概念が目ざされ始めていました。また、国際社会が2015年までに達成すべき目標としてMDGs（ミレニアム開発目標）があり、それ以降にもっと新たな目標が再設定されるはずと読み、このタイミングでの起業に至りました

## 1000社をまわり熱い思いをぶつけた

「KURADASHI」のビジネスモデルはすでに頭に描いており、それを実現するシステムを作りつつ、賛同者を探した。

「事業の肝は、商品を提供してくれる企業がどれだけのか。1000社集まったらローンチすると決め、ひたすら営業をかけていきました」



オフィスの壁一面に並ぶ賞状。クラダシの功績を称えた賞状のほか、感謝状も多く見られる。クラダシが支援を行った多くの団体からの感謝が記されている。

社会課題解決への熱い思いをぶけると、担当レベルでの反応は悪くなかった。しかしそれでも、実際に手を挙げる企業はほとんどなかった。「格安販売はブランドイメージの失墜につながりかねず、市場価格の下落を招くリスクもあります。安売りするくらいなら、廃棄した方がいい。そんな価値観が一般的でした」

そうした慣習の高い壁を越えるべく、関藤さんがとったのは、もっとも泥臭い方法だった。

「とにかく数を当てるしかない」と、1000社以上に思いをぶつけ、意見を聞きました。正しいことをやり続け、一人ひとりの心に訴えかけていけば、いつか賛同者は増えてくる。そう信じて、ただ断られてもあきらめずやり切るつもりでした」



ショッピングサイトの売上の一部はクラダシ基金に充てられる。そのクラダシ基金で実施する「クラダシチャレンジ」にて、農作物の収穫に取り組む大学生。

## 「クラダシ」のこれからの展開

災害やコロナ禍といった突発的な出来事の受け皿になれるよう、さまざまな企業との連携体制を作り、新品でも中古品でもない「1.5次流通」の構築、拡大を目指します。

また、人手不足に悩む地方農家へインターンシップで学生を派遣し、収穫できなかった農作物の廃棄量削減を目指す社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」など、地方創生関連事業にも力を入れています。



結果、目標の1000社に到達し、2015年2月にシステムをローンチ。その7か月後、国連がSDGs

を採択し、追い風が吹き始めた。

「フードロスにも注目が集まり、消費者の意識も高まってきました。フードロスに対する取り組みを積極的に行うことがブランドイメージの向上につながるようになり、KURADASHIも成長していきました」

ただ、関藤さんにとって現在の事業の成長がゴールではないという。「目指すのは、あくまで社会課題の解決であり、フードロスはそのうちのひとつです。地方創生や災害対策など、放ってはおけない課題が、私の中では山積みで、現在40以上の事業プランがあります」

目を輝かせてそう語ってから、関藤さんははにかむように笑った。「結局のところ、子どものまま。私はいつも誰かを助けていきたいのです」



## アーリーステージの 羅針盤

様々な分野で活躍中の社長さんに、  
アーリーステージでの学びや  
大事にしていたことをうかがいました。

# 社会課題とビジネス課題の マッチングが成功の鍵だった

をおさえる技術がほとんどないと気づきました。気候変動の影響で災害はさらに増えると思われ、インベーションの必要性を感じました」  
そこで事業の軸を防災テックに置くことと決め、同年9月に株式会社Resilireを創業。ただ、防災というジャンルの開拓は一筋縄ではいかなかった。防災関連メディアや、ボランティアの管理システムなどを運営したが、利益を出す構造を確立できなかった。この失敗から、災害による経済的損失を防ぐリスク管理に目をつける。  
「リスク管理は、企業の売上に直結せず、予算を割きづらいもの。災害の被害を防ぐという課題に対して、事業になりうるニーズがどこにあるか見

でビジョンやバリューを言語化し、短期的な成長より長期で社会に利益をもたらすことを目標に掲げるなど、方向性を明確に定めたことが、後のカルチャーの醸成につながりました」  
組織の安定化により開発のスピードと質が高まっていき、1年ほどで現在のシステムを作り上げた。現在は10社以上の大企業に導入されている。  
「私の場合、社会課題の解決が先行して起業しましたが、結局は社会課題とビジネス課題がマッチングしてはじめて事業として成り立つとわかりました。顧客に対し、どんな事業なら予算がつくか、徹底したヒアリングでニーズを探ることが、社会課題の事業化の第一歩となるはずですよ」

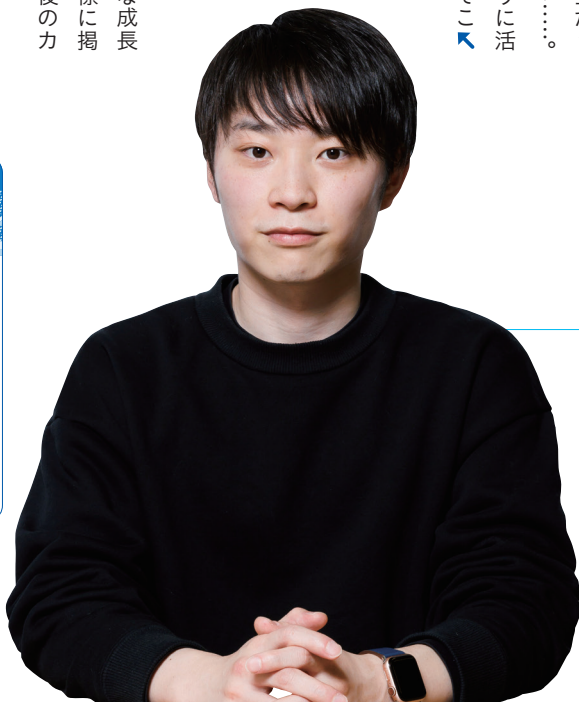
### 「防災テック」を軸に 事業になるニーズを模索

コロナ禍、地域紛争、自然災害……不測の事態により起きるサプライチェーンの寸断は、企業活動に大きな支障をきたす。そうしたリスクに備え、サプライチェーン全体を可視化、一元管理するプラットフォーム「Resilire」が注目を集めている。その生みの親である津田氏が防災テックに注目したのは2018年の実体験がきっかけだった。  
「関西で激しい地震と豪雨を経験し、災害被害

つけるのに苦労しました。顧客に事業の課題をひたすら聞いて回り、突破の糸口を探りました」  
試行錯誤を重ねて、企業がリスクに備えて行うBCP（事業継続計画）のクラウドシステムを開発したのが転機となった。そのプレスリリースを見た大手製薬会社から、サプライチェーンのリスク管理はできないかと相談を受けたのだ。さっそく開発を始めたが、津田氏はいきなり壁に当たった。チームメンバーが続々と辞め、組織崩壊……。「思えば、メンバーそれぞれがやりたいように活動し、組織の体をなしていませんでした。そこ

もっと知りたい!  
**Resilire**

法人向けリスク管理サービス「Resilire」は、サプライチェーン全体を可視化、管理するプラットフォーム。災害時には、影響のあるサプライヤーが自動でリストアップされ、迅速な対応が可能となる。



Profile つだ・ゆうだい

1996年兵庫県生まれ。学生時代にWebデザインや営業などを経験。2018年に株式会社はれるとの代表取締役役に就任しWebコンサルティングに従事。同年6月の関西での被災経験から、災害被害を予防するインベーションの必要性を感じ、同年9月株式会社Tech Design(現Resilire)を創業。



仕事の生産性をぐんと高める!

## トップパフォーマーの睡眠法

坪田 聡 (つばた・さとる)  
日本睡眠学会所属医師、医学博士。雨晴クリニック院長。  
「朝5時起きが習慣になる『5時間快眠法』」(ダイヤモンド社)など著書多数。

### 第1回 朝のぼんやり時間を短縮! 1日を長くする「目覚め」の秘訣

日々、忙しい社長さんは、「1日が24時間では足りない」と思うこともあるのではないでしょうか。すっきりと目覚めることができれば、朝方の仕事の生産性も高まります。そこで重要なのが、起きたらすぐに光を浴びること。日光でなくても、ライトでも構

いません。明るい光は体内時計を活動的なモードへと切り替えてくれます。

逆に、もっと寝ていたいのに、早く目が覚めてしまうこともあるでしょう。起きたい時刻の1~2時間以上前に起きてしまい、その後寝付けなかったらパッと起きてしまいましょう。眠れない時間を布団の中で過ごす「目覚め」にも悪影響を及ぼします。その日は仮眠をとる、早めに就寝するなどして1日の睡眠時間を調整しましょう。



### 二度寝をするなら 時間を決めて

どうしても寝足りないという朝は、二度寝で睡眠を補うのも手です。注意したいのは、眠りが深くなる前に起きること。二度寝、四度寝と浅い眠りを繰り返さないこと。二度寝をするときは、アラームを20分後などにセットしてからにしましょう。



### 自分の名前を 目覚ましに!?

五感で寝ている間でも常に神経の見張り番として働いています。特に、自分の名前には聴覚が反応しやすいので、目覚ましにすると効果的。スマホのアプリなどを利用して、自分の名前を呼ぶ声を録音し、アラーム音にしてみましょう。

オランダ風ハンバーグ  
1,100円(税込)  
※ライスは250円(税込)

連日賑わう名店で特に人気の一品。塩胡椒のみのシンプルな味付けのハンバーグは、肉本来の旨みが際立つ。たっぷりの濃厚なチーズソースともくどくなく相性抜群。溢れ出した肉汁とソースは、下に敷かれたバスタとよく合い、最後まで余すことなく楽しめる。

職場で  
食べたい

## おやつ&ごはん

リフレッシュ・会話のきっかけに最適な  
おやつやテイクアウトメニューをご紹介します!



想像以上に  
分厚いハンバーグは  
食べ応え抜群!

お持ち帰りで楽しめる  
洋食の名店の味



時間が経っても  
卵はふんわり!

モンブラン 浅草店  
もんぶらん あさくさてん

田原町

☎03-5827-2771 ☎東京都台東区浅草1-8-6 ファミール浅草ビル1F ☎11:00~21:00 ☎水曜(祝日の場合は営業、翌日休) ☎東京メトロ銀座線 田原町駅3番出口から徒歩5分、都営地下鉄浅草線 浅草駅A4番出口から徒歩8分

厳選洋食さくらい

げんせんようしょくさくらい

上野広小路

☎03-3836-9357 ☎東京都文京区湯島3-40-7 カスタムビル7F・8F ☎11:30~14:30/17:30~21:45(土・日曜・祝日は11:30~14:30/17:00~21:45) ☎月曜(祝日の場合は営業、翌日休) ☎東京メトロ銀座線 上野広小路駅・都営地下鉄大江戸線 上野御徒町駅A4番出口から徒歩1分、JR京浜東北線・山手線 御徒町駅北口から徒歩3分

注)上記では、通常時の営業時間、定休日のみを表示しています。営業時間短縮および年末年始や夏期などの臨時休業日につきましては、各店舗にお問い合わせください。

# 9月に開催決定！ 「TOKYO事業承継応援フェア」



東京信用保証協会は、「TOKYO事業承継応援フェア」を初めて開催します。本フェアは講演会、セミナー及び支援機関や専門家団体による相談ブース出展等、複合的な企画で構成されています。中小企業の皆さまの事業承継に関するあらゆる課題やお悩みに対し、都内の支援機関、専門家団体と連携し、ワンストップで解決を後押しします。事業承継をお考えの中小企業の経営者・後継者の皆さま、ぜひご来場ください。

## 開催概要

入場  
無料

開催日時 令和4年9月22日(木) 10:00～16:00

※事前来場登録は7月から開始予定

会場 東京都立産業貿易センター浜松町館3F・4F  
(東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝オフィスタワー内)

**講演会** …… 著名経営者が  
事業承継成功の**秘訣**を語る！

**セミナー** …… 事業承継のポイントを  
**4**つのテーマごとに解説！

**個別相談会** …… 以下の機関が**相談ブース**として出展！



日本公認会計士協会東京会／東京税理士会／一般社団法人東京都中小企業診断士協会／  
東京三弁護士会(東京弁護士会・第一東京弁護士会・第二東京弁護士会)／東京商工会議所／  
東京都事業承継・引継ぎ支援センター／東京都よろず支援拠点／公益財団法人東京都中小企業振興公社／  
株式会社商工組合中央金庫／株式会社日本政策金融公庫／株式会社日本M&Aセンター／  
日本プライベートエクイティ株式会社／東京信用保証協会 (順不同、敬称略)

## 最新情報は当協会ホームページより

<https://www.cgc-tokyo.or.jp/assistinfo/businessfair.html>



**お問い合わせ** 本フェアに関するご質問は、以下までお寄せください。  
東京信用保証協会 経営支援部 経営支援課 ビジネスフェア事務局  
TEL:03-3272-2070

### ● Editor's Note

今回取材したお二人は年齢や事業内容は異なりますが、事業としては「社会課題の解決」と「徹底した営業活動」という共通点がありました。社会課題は、一時的な支援では根本的な解決が難しく、継続的な支援を行うには、ビジネスとして成立させなければなりません。信念をもって、それぞれに立ち上がる壁の突破に取り組まれたお二人のお話はとても刺激的で勉強になりました。(G)

### ＼まるガモ応援隊／



クラダシのオフィス内にも、廃棄されるはずだった飲み物や食品が並ぶ。社員の方と一緒に息抜きタイム。

ご意見・ご感想は、以下までお寄せください。  
東京信用保証協会 企画部広報課  
〒104-0028 東京都中央区八重洲  
2-6-15 JOTOビル 3F  
TEL: 03-3272-3089  
HP: <https://www.cgc-tokyo.or.jp/>

